

大阪市会議長 ホンダリエ 様

## 外国人市民に向けた大阪市ウェブサイトの多言語情報発信の改善を求める陳情書

### 【陳情趣旨】

わたしたち「みんなで住民投票！（以下みんなじゅう）」は、2020年11月1日の住民投票にあわせて、可視化されない外国人市民の声をきこうと「外国人市民も住民投票！アンケート」を実施しました。開始から一月あまりで40カ国873名の大阪市在住の外国人市民に回答して頂き、対面での調査では、アンケート回答以上にいろいろなお話を聞かせて頂きました。そのひとつに「情報がよく分からない」という声がありました。

現在、大阪市のホームページ（HP）トップページのLanguage ボタンをクリックすると外国人市民向けのページに飛びます。さらに英語・中国語・ハングル・やさしい日本語をクリックすると、HP本体の機械翻訳の他、アイコンから外国人市民向け情報にアクセスできます。ですが「大阪生活ガイド」などの恒常的な限られた情報だけで、時事的な新しい情報にはアクセスできません。またコロナ禍になって一年がすぎようとしているのに、「新型コロナウイルス感染症関連情報」のアイコンもありません。全体として大阪市の多言語情報発信は「多言語でありさえすればいい」という印象で、外国人市民の立場に立って使いやすさが考えられているとは言い難いと思います。

2020年12月24日策定された『大阪市多文化共生指針』でも、「Ⅲ 多文化共生施策の基本的な方向性」の6つの方針のトップに「多様な言語・手段による情報提供」があげられており、大阪市としても重要な課題として位置づけられています。これからの新型コロナウイルスに関連してのワクチン接種、支援情報、注意喚起などを考えても、大阪市民の5%を占める外国人市民へのリアルタイムでの情報発信の仕組みづくりは至急の課題であると考えます。

一方で、総務省が出している「みんなの公共サイト運用ガイドライン」にもとづいて大阪市がHPの確認・評価をしたところ、「利用者との協調」が6点満点中で1点と極めて低いと評価されています。こうした点を踏まえ、HPの改善に向けて利用者である外国人市民と協力し、その声を反映しつつ、活用しやすいものをめざすべきであると考えます。

こうした趣旨から、以下、陳情いたします。

### 【陳情項目】

- 外国人市民に向けた大阪市ウェブサイトの多言語情報発信の改善を求めます。

2021年3月8日

〒545-0041 大阪市阿倍野区共立通 1-6-5

**みんなで住民投票！**

（みんなじゅう）発起人

